

保育総合研究会
臨時

News

VOL.15 2020.12.10

発行人 保育総合研究会 会長 梶沢 幸苗
発行元 事務局長 社会福祉法人 東明会
飯沼こども園 理事長 東ヶ崎静仁
〒311-3153 茨城県東茨城郡茨城町上飯沼 1276-1
029-292-6868 Fax 029-292-3831
E-mail iinuma-n@ans.co.jp

全国会員数 97名

報告&予定 1)サポートブック年齢別⇒仙台での会議終了⇒2/25 発売決定

◆日時:令和2年12月8日(火)13:15-18:00 場所:ホテル JAL CITY 仙台

◇今後最終確認として、全5冊執筆者・園名の確認が東ヶ崎事務局長より届きましたら必ず、お返事を下さい。間違ったまま掲載されないように皆さん必ずご覧になってください。

◇令和3年2月25日に全5冊が完全リニューアルされて発売されます。
(平成30年度要領・指針及び赤いサポートブックに基づきました。)
いままで通りだと、今回の執筆者にはワンダーより献本されます。
又保総研会員にはある程度の冊数を超えると割引になるように現在検討中です。
正式に決まりましたら、会員の皆様に又お知らせします。

◇更に保総研の会員園限定に園内研修として、執筆者自身が講師となりオンラインによる研修を令和 3 年度前期に行う予定です。今後、講師の依頼等をして、皆さんが 3 年度年間計画時には研修日時がわかるようにしてあげたいと思います。

◆参加者 計 11 名(01.2.3.4.5 歳児 5 冊全ページ検討しました。)

ワンダー側 5 名 飯塚・石川・飯田・大場・塩坂

保総研側 6 名 椋沢・坂崎・東ヶ崎・永田・遠藤浩平・森本(なんと偶然ですが、ペセラバリ島の参加者でした。

びっくりです。ちなみに森本さんは結婚して永田さんになりましたが、大阪永田先生との差異の為に旧姓のま

ま森本と明記しました。ご了承ください。) ➡ 換気に十分気を付けて行われました

報告 2) 第 68 回 オンラインで定例会 51 名参加➡無事終了しました

◆第68 回定例会 日時 令和 2 年 12 月 1 日(火) 13:00-15:00

講師:神戸大学・大学院准教授 北野幸子先生➡とっても元気でしたね!

講演名「評価を活用した保育の質の維持・向上」

報告 3) 令和 2 年度予算等坂崎解説 → 要望活動を地元でお願いします。

1.人勧は保育士年額約 1 万円減額 (×人数分返還)

令和 2 年度の人事院勧告は、0.05 返還となりました。国が示している平均保育士給与額から年間 1 万円を返還することとなりました。よって、その園によって返還額は違いますが、おおよそは園が抱えている職員人数×1 万円の総額となります。現在、返還を 2 月から行う(2.3.月で半期分ずつ返還)又は 3 月に 1 年分を返還するか、検討中です。

この返還額は、公定価格と人勧の連動する関係から考えると、一番被害の少ないものですが、一方このコロナ渦にあった保育現場にとっては大変厳しくとらえる人もいるのも事実です。単純に 2 年度だけを見ると、次の 2 の第 3 次補正額も含めて考えると返還分を補填していることにはなりません。

しかし問題は、この下がった公定価格で翌年が始まる可能性が高く、令和 3 年度は厳しい状態の園運営が予想されますので、職員の昇給や賞与の扱いなど慎重に今後の予算立てが必要です。来年度今年並みの補正が期待出来れば良いのですがそこが問題です。続いて第 3 次補正です。

2.令和 2 年度第 3 次補正に又 50 万円出る予定です。

第 1 次補正に続いて、第 2 次補正が今自治体で支給されているかもしれませんが、第 3 次補正も 3 月を目途に出ますが、4 月に支給される可能性があります。今回も 2 次補正同様人件費に回せることとなりますので、各自治体とそれぞれ話し合っておく必要もあるかもしれません。令和 3 年度は、公定価格が下がる上に非常事態宣言が出ず、この補正が望まれないのではないということにならないように、政府や政治関係者にその都度お願いしておく必要があると考えています。**要望の依頼文章に関しては、前回 14 号をご参照の上、是非ともそれぞれで関係者にお声をかけてください。(お願い)**

3.退職共済は継続予定

今年度末継続を検討していた退職共済。約 238 億円の予算が確保され、次回(普通に考えると 3 年後か)まで継続されます。この退職共済は、待機児童との関係が強く、待機児童と保育士確保のためにも、退職共済が担保されているのが事実です。今後待機児童が少なくなった時の行方が注目です。

今後の予定 2) 保総研 三役会&役員 zoom 会議予定

◆次回三役・事務局会議 12月24日(木)13:00~13:45

◆次回役員会 12月24日(木)14:00~15:00

審議事項 ①令和2年度年次大会の開催について②令和3年度役員及び部会等構想について

③7プロポジションについて

④その他/過疎地サミット

② 役員候補については、仮承諾のみを得ているので、詳細を詰めて12./24の役員会に臨む予定です。

これまで、11/30「次期事務局会議」12/1「次期副会長会議」12/2「次期部会会議」(保育科学)

12/4「次期事務局員会議」等を行った。今後12/24までの間に「次期副会長会議」「次期部会会議」

(保育制度)、ジャミーズ法人検討及び移行の「法人化委員会」と「広報委員」の会議をオンラインで

行い、詳細を詰めていきます。

③ 各大御所の先生等にも12月中旬依頼し、それぞれ検討していただきます。この進め方を上記の

「次期部会会議」(保育制度)と検討していこうと考えていました。

保育総合研究会の皆様 ALL DAY NIPPON/in 保育 の最終案内です

開催日時 2020年12月23日(水)午前9時から午後5時 参加費 無料 MCは坂崎です
(トータル8時間です。ご都合に合わせて、興味のあるところを視聴してください。もちろん全部でも！)

開催形式 オンライン(会議システム ZOOM を利用) **現在申し込み者 500名です。**

研修会テーマ 「2020の今」時代の変遷と現在を俯瞰してみる 次代と未来を想像し創造する
《参加申し込み》**12月14日下記 URL をクリックして参加申し込みページにお進みください**

<https://business.form-mailer.jp/lp/8051f97c132659>

ちなみに12/15を過ぎると申し込みできなくなるので、ご了承ください

※ 保総研関係者の時間をお知らせします。

※ あくまでも予定ですのでご了解ください。必見ですよ。

11:00 森田副会長『令和2年度こども・子育て進捗状況等』

12:00 東ヶ崎事務局長 《 今後の保育予算の動向について(・・?) 》

13時台 藤井先生 高月先生 矢野先生 出演します

16:00 椋沢会長「保育の質 問題」

16:25 伊東副会長「地域問題」 16:50 渡辺先生閉会挨拶

今回の情報提供 ☆2020年 令和2年度定例会等 12月事業予定

- ◆次回三役・事務局オンライン・クリスマスイブ会議 12月24日(木)13:00~13:45
- ◆次回役員オンライン・クリスマスイブ会議 12月24日(木)14:00~15:00

P1-2 サポートブック仙台の報告と 2021.2/25

P2 68 回定例会 北野先生ありがとう

P3-4 令和2年度予算の解説と各地関係者のお願い

P5 三役会・役員会議 12/24

P6 12/23 ALL DAY NIPPON/in 保育最終案内

P8-9 『保総研の歴史 No.15』今さらながら どうして

北海道函館お二人 水落先生 親子のお話 (ここは坂崎の勝手な思いを書いています。ご勘弁を)

P9 和食継承人材育成研修会

P10—11 編集誤記※参照分 令和3年度予算の一部よもやま話です

当会 HP アドレス <http://hosouken.dip.jp/hskblog/trashed/>

◆次回No.16 を正月号として 12/26 日頃には出す予定です。お楽しみに。
7 プロポジションを 12 月~1 月に最終検討します。

『保総研の歴史 No.15』今さらながら どうして 北海道函館お二人 水落先生 親子のお話

水落先生親子のことについて話させてほしい。まずはお父さんの事。13号で福澤先生のことを書いたが、私が29歳の時に福澤先生と一緒に我が鶴田町5歳児全員に合唱指導して、それを町民祭で発表して拍手喝采をいただいた。ついでにその資料を発表したところ北海道・東北ブロックまで選出され函館で発表をした。その時の講師が当時函館保育専門学校の校長代理の水落先生だった。こんなに的確に示唆し、人を上手に褒める人がいるものかと、勝手に無理やり水落先生に友達になってもらった。私だけではなく、私達は(達には栲沢会長や遠藤浩平らも入る)何か有るたびに水落先生に勝手に登場してもらった。青森の全国大会や福島全国青年保育者会議などの講師も務めさせられるし、つい最近も含め、私が函館に行くたびに飲めない水落先生は私に付き合っ朝まで飲まなければならなくなるのだ。その後保養協の北海道代表全国理事をしたり、とっても立派な人なのに、私と付き合うばかりに、いつも右往左往させられてしまう。誰よりも、とても優しいお父さんなのだ。どうかお元気でこれからも私と一緒に飲みながら保育の真心を考えたいと思う。ちなみにサイクリング協会会長を歴任したり、どこまでも人の面倒を見てるんだよな。又大好きな函館に遊びに行くよ。待ってて

Japan

Association of 連合(すること)

Multidisciplinary Research for

多くの学問領域にわたる 研究

Early Childhood Care and

Education

ね。みんなも函館に行きたいよね。いつか又定例会やりましょうね。

さて息子の水落先生の話しましょう。ペセラバリに参加した翌年、遠藤浩平・永田の両人が幸いなことに2年目の東南アジア進出となった。そのポスタ一部分発表の栄えある1位が水落息子さんだった。浩平は日本人でそれも水落って誰だろうと思っていたらしい。彼は東海大学で柔道の選手でもあり、体育関係を選考し、ついでにITに強いつてどうなっているんだと。会ってみる

と、これが又お父さん同様好青年ときた。ジャミーズの皆さんとも年齢が近いこともあり、これもまたみんなの面倒を見ることになるのだと思う。「保育を科学すること」や「産学連携」など言葉になってからずいぶん経つ。この先頭で戦闘に保総研が立ってきたことは紛れもないが、このことは今後も保総研は当然だが、水落本人にとっても大きな課題になっていくと考えている。これは、将来も含め保育界の地位向上のためには欠かせないし、何よりも真の子育て支援に役立てたいと思う。中長期に計画を立てながらも、水落本人と今後の事を詰めていきたいと考えている。どうぞよろしく。

人の縁とは不思議だ。あの夏の暑い日、お父さんの水落先生に函館で会った。すぐ1か月後たった30分の講演に、更に熱い青森の大鰐に来ていただいた。朝まで飲んだ。笑った。函館にこんな素晴らしい保育の先生がいることに勇気ももらった。あれから少しだけ時間が過ぎた。子どもの育児や保育の事のこと、やっと社会で本気で考えてもらえるようになった。これから勝負だと思う。頑張りたいと思う今日この頃だ。水落息子やジャミーズに期待を寄せたい。

保育総合研究会の皆様 **和食継承人材育成研修会** のご案内

坂崎は現在、農水省の和食文化継承の人材育成等事業検討委員をしております本日以下の URL に人材育成事業の募集ページをアップいたしました。お忙しいところ大変恐れ入りますが、該当地域に所属のご関係者様へご案内頂けますでしょうか。

和食継承人材育成研修 お申込み URL <https://ouchidewashoku.maff.go.jp/seminar/>

●本年度対象地域→茨城、山形、石川、京都、島根、高知、大分、鹿児島

●研修期間→2020年11月23日～2021年2月28日

●グループワーク(オンライン)の日程 (お一人につき1回のみ参加)

11月29日(日) 茨城県 12月5日(土) 山形県 12月6日(日) 石川県

12月19日(土) 京都府 12月20日(日) 島根県 12月28日(月) 高知県 1月11日(祝・月) 大分県・鹿児島県

***対象日の参加がやむを得ず、難しい場合は、他地域の日程にご参加頂ければと思います**

編集誤記

思いが未来を変える。保総研が未来を作る。

この広報に対する内容については下記に電話等でご連絡を頂けると有難いです。

担当:〒039-4222 青森県下北郡東通村砂子又大字沢内 9-35

保育総合研究会 副会長 坂崎隆浩 携帯:090-6252-3699

メール:kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp(こども園ひがしどおり FAX: 0175-31-0203)

今度の令和 3 年度予算のこと あまり知られてない二つについて少し書いておきます。
今後の事は注視しながら進めていきたいと思えます。次は **24 日以降に、臨時 News** が出ますが、次は正月版なので豪華な臨時 News にします。出来れば、**保総研からお金をもらってお年玉プレゼントをしたい**と思っています。**桜沢会長・東ヶ崎事務局長 何卒宜しくお願いします。**

特別付録)

1.待機児童対策費の裏財源はたぶん(…?)

待機児童の多くはほぼ児童手当拠出金です。来年度の予算は 1600 億円ほどです。厚労省としては本来、全部児童手当拠出金で出したいのだと思いますが、このコロナ渦なので企業拠出側も 1100 億円しか用意できないとなっています。そうすると、残りの 500 億円をどうするかとなります。企業拠出側は無償化の高所得者分をカットすべきと言う意見でしたが、苦渋の解決策として児童手当の高額所得者分をカットし、補填するという、とても社会には言われない仕組みを待機児童問題に組み込みます。

大切なことは待機児童対策費は安倍政権にとって重要課題であったこと、それを菅政権も引き継いでいること、さらに言うとそれは退職共済の維持にもつながっています。将来を考えると、退職共済の残し方などを今から内部で意見調整をしておくというのが妥当かもしれません。

2. 待機児童対策費を今後は是非とも少子化対策や過疎地対策に使いたい、しかし、いずれ待機児童問題がなくなる。確かに東京や大阪からは無くならないが、ほとんどの地域が定員を充足できないという事になります。そうすると今の要課題としての存在意義がなくなってきます。それらを念頭に入れて考える必要があります。

あくまでも私見に近いのですが、普通に考えると

- 1) 待機児童対策費の減少分を過疎地対策等に使う
 - 2) 待機児童対策費を少子化対策費として
 - 3) 待機児童対策費を地域で全ての子が入れる仕組みに使う
- などなど 仕組みの変更を視野に入れながら 次の時代を考えましょう、

それでは 12/23 ALL DAY NIPPON を楽しみにお待ちしております。坂崎でした